

えびの 市議会だより



主な
内容

公の施設（えびの市国際交流センター・えびの市養護老人ホーム真幸園）の指定管理者を議決…………… P 5

常任委員会での審査内容…………… P 6～7

特別委員会での審査内容…………… P 8

各視察・研修会等の報告…………… P 9～11

一般質問（登壇13名）…………… P 12～18

3月定例会は2月27日開会予定です

新年のっあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、晴れやかな新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より市議会への深いご理解と議会活動に対しまして格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

議長就任2年目になりますが、市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指し、議会運営に努めて参りました。新春を迎えて、えびの市のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

昨年は、レスリングの伊調馨選手の五輪4連覇などリオデジャネイロオリンピックでの日本選手の活躍に湧いた反面、熊本地震、大型台風10号による災害など自然災害が発生しました。えびの市においても硫黄山の活動が活発化し、12月には噴火警戒レベルが火口周辺への立ち入りを規制するレベル2に引き上げられるなど災害に対する備えの大切さを痛感した1年でもありました。



さて、今日の社会情勢、特に地方を取り巻く情勢は、少子高齢化、人口減少など克服すべき大きな問題に直面しており、議会が果たすべき役割は大きく権能を発揮する重要性がますます強くなっております。このため市議会といたしましては、昨年12月定例会において、自らを立ち返り、今後の市政を取り巻く環境の変化を的確に捉え、えびの市の長期的・持続的な発展を支え、将来を担う子ども達をはじめとする市民の皆様の幸せのため、また、活力あるえびの市を実現するため議会の資質向上を目指し、議会改革に取り組む必要があるため、議会改革等調査特別委員会を設置いたしました。今後とも、市民の皆さまの期待に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいる所存であります。

新春に臨み、市民の皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が市民の皆様にとりまして幸せで実り多く、また大いなる飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

えびの市議会議員 竹中 雪宏

12月定例会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：11月30日～12月14日（15日間）

| 番 号 | 件 名 | 付託委員会 | 審議結果 |
|--------|---|-----------|------|
| 報告第13号 | 専決処分した損害賠償の額の決定について | — | — |
| 議案第63号 | 固定資産評価審査委員会の委員の選任について | — | 同 意 |
| 議案第64号 | 教育委員会の委員の任命について | — | 同 意 |
| 議案第65号 | 公の施設の指定管理者の指定について | 総務教育 | 原案可決 |
| 議案第66号 | 公の施設の指定管理者の指定について | 産業厚生 | 原案可決 |
| 議案第67号 | えびの市議会議員及びえびの市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について | 総務教育 | 原案可決 |
| 議案第68号 | えびの市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について | 総務教育 | 原案可決 |
| 議案第69号 | えびの市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について | 総務教育 | 原案可決 |
| 議案第70号 | えびの市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について | — | 原案可決 |
| 議案第71号 | えびの市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及びえびの市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について | — | 原案可決 |
| 議案第72号 | えびの市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について | — | 原案可決 |
| 議案第73号 | 平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第6号)について | — | 原案可決 |
| 議案第74号 | 平成28年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について | — | 原案可決 |
| 議案第75号 | 平成28年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第2号)について | — | 原案可決 |
| 議案第76号 | 平成28年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について | — | 原案可決 |
| 議案第77号 | 平成28年度えびの市水道事業会計予算の補正(第2号)について | — | 原案可決 |
| 議案第78号 | 平成28年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について | — | 原案可決 |
| 議案第79号 | 平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について | — | 原案可決 |
| 議案第80号 | 平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第8号)について | 予算審査特別委員会 | 原案可決 |
| 議案第81号 | 平成28年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第4号)について | 産業厚生 | 原案可決 |
| 議案第82号 | 平成28年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第3号)について | 産業厚生 | 原案可決 |
| 議案第83号 | 平成28年度えびの市水道事業会計予算の補正(第3号)について | 総務教育 | 原案可決 |
| 議案第84号 | 平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)について | — | 原案可決 |

2. 請願・陳情

| 番 号 | 件 名 | 付託委員会 | 審議結果 |
|--------|--|-------|------|
| 陳情第13号 | 平成22年度から、えびの市国際交流センター内で運営されていた自然食レストラン「のどか」について別紙の様々な疑念を調査、解明するため地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書 | 産業厚生 | 継続審査 |

3. 議員提出議案等

| 番 号 | 件 名 | 付託委員会 | 審議結果 |
|------------|----------------------|-------|------|
| 委員会提出議案第1号 | えびの市議会委員会条例の一部改正について | — | 原案可決 |
| 議員提出議案第1号 | 議会改革等調査特別委員会の設置について | — | 原案可決 |

平成28年12月定例会に提出された主な議案について

条例・その他の議案

予算の議案

人事案件

議案第65号

公の施設の指定管理者の指定について

施設名 えびの市国際交流センター
団体名称 特定非営利活動法人えびの市国際交流協会
指定期間 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで（2年間）
（※詳しくはP.6の総務教育常任委員会報告を参照下さい。）

議案第66号

公の施設の指定管理者の指定について

施設名 えびの市養護老人ホーム真幸園
団体名称 社会福祉法人 えびの明友会
指定期間 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで（3年間）
（※詳しくはP.7の産業厚生常任委員会報告を参照下さい。）

議案第68号

えびの市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

職員が要介護者の介護をするための介護休暇の期間や時間等を新たに改正しました。

議案第79号

平成28年度えびの市一般会計予算の補正（第7号）について

主な事業
・国際交流推進事業費64万7千円
中国吉林省長春市代表団の表敬訪問に伴うものです。

議案第80号

平成28年度えびの市一般会計予算の補正（第8号）について

総額143億2,920万8千円

主な事業
・畜産振興事業費 1億9,768万6千円
後継者や意欲のある畜産経営体の施設整備を支援し、規模拡大を図ることを目的として補助するものです。
（※詳しくはP.8の予算審査特別委員会報告を参照下さい。）
・新規就農総合支援事業費 500万円
新規就農者の定住促進と経営基盤安定等を目的とする補助金を増額するものです。
・森林整備加速化・林業再生事業費 523万9千円
林業の再生、活性化を目的とした林業機械導入に対し、補助するものです。

議案第63号

固定資産評価審査委員会
委員 赤川 一郎氏

議案第64号

教育委員会
委員 貴嶋 俊介氏



議案等の 審査

総務教育常任委員会報告

12月定例会において、当委員会では、議案5件について審査をしました。審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以下、主な審査内容を報告します。

(1) 議案第65号 公の施設の指定管理者の指定について

えびの市国際交流センターは、平成18年度から指定管理者制度により施設管理を行っておりますが、平成29年度から平成30年度までの2年間に際しても、地方自治法第244条の2第3項の規定による指定管理者に管理を行わせるため、同条第6項の規定により、議会の決議を求めるものであります。

Q・市側が示す指定管理等に変更はなかったのか、今回の指定管理応募団体の中で、選定を行う際にどういった点に重点をおいた選考をされたのか。またプレゼンテーションの内容においてどういった点を高く評価した結果、えびの市国際交流協会を選定されたのか。

A・以前と募集要項や仕様書等もほとんど変わっていないが、施設の有効利用を考えたときに、市民交流の場としても広く活用していくことを設置目的としているため、その点でプレゼンテーションの内容で、やはり一番自主事業を重んじて、今後更に国際交流センターが市民交流の活動の場として、多くの人が来るようになって事業がなされる。

現在^{※①}ALTや国際交流員もいないため難しい状況にあるが是非もう一回国際交流事業だけでなく、市民交流の場として皆さんが足を運んでいただくような、そういう活動の場としていただきたいということに重きを置いた採点を行った。

また、国際交流協会の自主事業の提案内容として、例えば新たに市民との交流を深めていきたいということ、特に当協会は海外との繋がりが深いため以前よりホームステイを実施していた農家との交流を図ること、えびの市の魅力も伝わると思い、今後はファームステイ、

ファームヴィジット等を自主事業として提案され、この点も充実しており一番評価が高かった。

※①ALT（英語指導員助手）

Q・この団体で承認いただきたいという議案提案として考えるとこの団体になったときに、どういった計画や方針をもって、今後国際交流センターを運営されていくのかということ、この提案理由からは分からない。執行部としては応募の際の提出資料やプレゼンテーションにより、そういった点の判断が出来ると思うが、そのような資料等を、委員会審査時にも提出していただければ、委員会としても理解出来ると思われるので、今後同様の議案提出の際は、そのような資料の提出をお願いしたい。

A・今後検討する。

(2) 議案第83号 平成28年度えびの市水道事業会計予算の補正（第3号）について

今回の補正は、積算基準の見直

しによりまして消火栓設置工事費を増額、また小林土木事務所、京道京町小林線道路改良工事の前倒しにより、配水管布設替え実施設計を増額するものです。

Q・県道工事に伴う布設替えということだが、今回歳入の方で30万円ですが、簡単に説明すると負担金の額が小さいだけに算出はどういった計算になっていたか。

A・毎年4基程度新規に消火栓を新たに設置している。これは基地防災対策課から、これに係る費用の繰出しを全額いただいている。今回工事請負費を増額するにあたり、負担金を増額するものである。その30万円というのはイコール増額分という、工事請負費の増額分であり、消火栓設置の4基分がこの30万円ということである。

総務教育常任委員長

小東 和文

議案等の 審査

産業厚生常任委員会報告

12月定例会では、議案3件、継続審査としておりました陳情1件につきまして去る12月9日1日間で審査しました。審査の結果すべて議案は原案のとおり可決すべきものと決し、陳情1件は継続審査とすることに決しました。以下審査内容を報告します。

①議案第66号 公の施設の指定管理者の指定について

えびの市養護老人ホーム真幸園の施設管理を社会福祉法人えびの明友会に平成29年4月1日から平成32年3月31日まで、地方自治法第244条の2第3項の規定により、指定管理者を指定するため議決を求めるものであります。

選考方法などについて質疑があり、選考に当たっては慎重にしてほしいとの意見等があり、採決の結果、討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

②議案第81号 平成28年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第4号)について

歳入の主なものは、療養給付費等交付金2,219万9千円の減額、繰入金2,810万6千円の増額など合計額528万4千円の増額、歳出は保険給付費704万4千円の増額、後期高齢者支援金等125万8千円の減額など合計額528万4千円の増額、予算総額は42億8,483万8千円となり、採決の結果討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

③議案第82号 平成28年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第3号)について

歳入は、繰入金など合計額106万5千円の増額、歳出は総務費、保険給付費で合計額106万5千円の増額、予算総額は33億7,814万9千円となり、採決の結果

討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

④陳情第13号 平成22年度からえびの市国際交流センター内で、運営されていた自然食レストラン「のどか」について、別紙の様々な疑念を調査、解明するため地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書について

本陳情について、陳情者を招致して趣旨の説明を求めたところ、えびの市および宮崎県の委託を受けて実施された公金支出の事業において、理解不能かつ著しく不明で、様々な疑念が10項目あるとの説明でありました。

10項目にわたる疑問点の説明を受け、本陳情を出されたきっかけは何か、また合意書が提出されているがなぜ未解決なのか。真幸膳や商品開発、食器代として実績報告書などの確認について、質疑がなされました。

本陳情書において宮崎県の委託事業に伴う事案等も含まれており、産業厚生常任委員会が審査できる権限は、地方自治法第109条第2項により、その部門に属する当該地方公共団体の事務に関する調査となつていきます。これを踏まえ、陳情書の1項目から8項目までについては県の委託事業に伴う事案であり、9項目、10項目において、当該えびの市の委託事業に伴う事案があることから、質疑を執行部にもとめました。6次産業化推進モデル実証事業の目的および成果や実践の場となる物産館について、地産・地消の取組み、レストランメニューの開発・実証等について質疑がなされましたが、内容を検討する必要もあることから継続審査とすることに決しました。

産業厚生常任委員長

井上 義人

予算審査特別委員会報告

平成28年度一般会計予算の補正

12月定例会において、当特別委員会に付託された案件は、議案1件であり、1日間の日程で審査を行いました。

審査内容の結果につきましては、討論はなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、審査内容の主なものを報告します。

①議案第80号 平成28年度えびの市一般会計予算の補正（第8号）について

歳入歳出それぞれ、3億8077万2千円を追加し、補正後の予算総額は、143億2920万8千円となります。

歳出の主なものは、畜産振興事業、新規就農総合支援事業、森林整備加速化・林業再生事業、臨時福祉給付金事業等の増額です。

Q…畜産振興事業の主な内容は。

A…今回の補正は、国の畜産競争力強化整備事業について、和牛繁殖基盤の強化を進め、意欲ある若い担い手を育成する必要があるため取り組むものである。

Q…えびの市で取り組む経営体は。
A…2つの経営体で、JAえびの市が和牛繁殖センターに、また市内の肉用鶏生産法人が規模拡大に伴い鶏舎増設に取り組む予定である。

Q…この事業の補助対象者は。
A…この事業の主体となるえびの市肉用牛クラスター協議会及び西諸県地域肉用鶏クラスター協議会の会員が補助対象である。

Q…資金計画・経営計画の審査は。
A…資金計画はJAで立て、審議はクラスター協議会の中で行う。

Q…繁殖センターの施設に携わる人員は。

A…現段階では5名の雇用を予定している。

Q…繁殖センターの飼育頭数は。
A…肥育素牛の増頭及び市内繁殖牛母牛の増頭かつ妊娠牛の供給体制をとることで、繁殖牛200頭、妊娠牛100頭の計画である。

Q…この事業を成功へ導くような指導者、管理者が必要である。採用はどのようになるか。
A…管理者には高度な能力及び技術が要求される。当然経験がある方、技術的に問題のない方を採用するのが最善だと考えており、このような意見を事業取組者の方に進言し取り組んでいく。

予算審査特別委員長

上原 康雄



多頭飼育している畜産農家の牛舎

各視察・研修会等の報告

産業厚生常任委員会 視察研修報告

平成28年11月9日～11日の3日間で産業厚生常任委員会の行政視察研修を行いました。

埼玉県吉川市において介護支援ボランティア制度について研修を受けました。概要は、ボランティア

登録をしている高齢者がボランティア活動の登録施設・事業所等で行った活動に対して実績に応じたポイントを付与する制度です。市側のメリットはボランティア活動を通して身体的に介護予防の促進につながり介護予防に関心を持ち予防への意識向上につながっているそうです。

茨城県結城市においては、茨城県高齢者優待制度（シニアカード）並びに介護マーク普及啓発事業について研修を受けました。県内在住の65歳以上の高齢者が協賛店舗において優待カードを提示することにより、料金割引やポイント加算等の特典を受けることができる制度。



茨城県で実施されている高齢者優待制度（シニアカード）

制度。

茨城県笠間市において栗の生産に対する行政支援について研修を行っており、明治時代から栗の栽培が始まり栗産地強化支援事業に至っています。栗のブランド化及

び6次産業への取り組みをしているそうです。

産業厚生常任副委員長

山元 豪

議会広報常任委員会 研修報告



議会広報常任委員会・視察研修

議会広報常任委員会では、福岡県大刀洗町と佐賀県嬉野市に11月15日、16日で議会だよりの編集・作成について視察研修を行いました。一日目の大刀洗町の研修では、委員の任期は4年で委員5人。（えびの市は2年、委員7人で構成）

えびの市との違いはフルページカラー印刷で、文字も大きく（えびの市の議会だよりは二色印刷）見やすく写真を多く使用しており、飽きのこない紙面作りをし、表紙

は人物（子ども）の写真を使用しており、掲載する時には事前に許可をもらっているので問題はないとのことでありました。えびの市の議会だよりについては文字が多く読みにくいとの指摘を受け、改善の必要を感じました。

二日目は嬉野市の議会研修を行い大刀洗町と同様、住民に分かりやすい表現方法で記事の内容作成を心がけているとのことでした。議会報告会では、市民へ議会の活動内容を伝え周知し、議会に対する認識を深め、議会の充実を図るため議会だよりを活用しているとのことでした。当広報委員会でも研修先の広報誌を参考にして、文字を大きくしたり、カラー紙面を増やすなど、市民の方が理解、読みやすい広報づくりの取り組みが必要と強く感じたところでありました。

議会広報常任委員会 副委員長

西原 義文

西諸州市郡議会 議長会議員研修



西諸州市郡議会議長会議員研修会報告

平成28年11月4日高原町のほほえみ館において、西諸州市郡議会議長会議員研修会を、牧浩之氏を講師として招き講演会が行われました。

牧浩之氏は、6年程前に川崎か

ら奥さんの実家がある高原町に移住してこられた方です。自己紹介では職業猟師＋西洋毛鉤釣り職人けぼりとありました。「フライフィッシングの毛鉤を作り、高原町の田園地域を流れる高崎川で釣りをする。山と川が僕の仕事場です。」と話され、高原町の中でたくましく生活している牧氏の言葉や姿に感銘しました。また西諸県で移住された方の気持ちもよくわかり、この研修を通して、今後、移住定住政策の参考にしていきます。

山元 豪

宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議研修会報告

11月17日宮崎市にて、宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議の平成28年度総会・研修会が開催されました。今回は宮崎県の素材生産量25年連続日本一達成を記念して、県内の森林・林業・木材産業関係者が一同に会し、これまでの歴史を振り返りつつ、今回の偉業達成に貢献下さったソウル大学校教授の李銓イジョン濟氏をはじめ、16団体の皆様へ感謝状が贈呈されました。李氏のスピーチの中で、宮崎県の森林・林業・木材産業の発展の一つとして、海外へ輸出する際には、相手国の人達の使用用途に合わせて加工した製品を作ることが重要とのアドバイスがありました。また、パネルディスカッションでは「宮崎の森林・林業・

木材産業 未来への展望」をテーマに6名のパネリストが活発に意見を交わし、山の国土保全のためにも、山の集積・インフラ整備の必要性、適正伐期の推進、コンテナ苗を活用した再造林等が提案されました。また、林業の持つ価値の再認識、ICTやロボットを活用したコスト削減など今後若い人が林業が楽しいと思える環境作りも課題とのことでした。

えびの市の基幹産業である林業にも目を向け、持続可能な産業となるよう議会としても現状を把握し、研修等を重ね施策提言につなげたいと思います。

えびの市森林・林業・

林産業活性化議員連盟

遠目塚 文美



宮崎県森林・林業・活性化議員連盟連絡会議研修会

宮崎県市長会研修会

11月21日に平成28年度「宮崎県市長会研修会」が宮崎市のニューウェルシティ宮崎で開催され、日本総合研究所の里山資本主義などの、著書で知られる藻谷浩介氏の

『誇りと愛着を持てる、住み続けられるまちに向けて』と題して講演がありました。その中で首都圏の人口構造を紹介され、「総人口が増えているから安心ではない。実情は高齢者が増え、福祉費用がかさんでいるだけである」と指摘されました。また、「地方活性化って何ですか？」と問われ、

すぐにメモを取って来たのですが、「交通が便利になることですか？工場・職場が増えることですか？もつと好景気になることですか？」と問われました。「違うんですね！地域活性化とは、若者が戻って来て子どもが生まれること。人口が減らなくなる。誇りをもって地域を残すことだ。」と言われていました。結局は、地方活性化とは人が地方に残り、子孫を増やすことだと再認識した訳なのですが、そのためには子どもを産み、育てやすい環境づくりが大事

であり、子育て支援に予算とエネルギーを向けることが必要ではないかとのことでした。やはり、えびの市には人が気軽に集まる交流拠点・核が必要だと感じた研修会がありました。

総務教育常任委員長

小東 和文



宮崎県市長会研修会

一般質問

12月定例会では、13人の議員が登壇し、幅広く活発な議論がされました。その要旨を各議員が報告します。

市民要望に対して市長の前向き答弁を



栗下 政雄
議員

関係者の皆さん方も土地の提供を考えているが、どう思われるか。

建設課長補佐

11月28日に東原

田自治会長ほか連名で要望書が提出されており今後、地権者の同意が揃い次第、道路の拡張について検討する。

市長

以前との状況も変わってきているようである。同意の状況が揃い次第、前向きに検討する。

質問 今年8月29日に南原田自治会公民館で周辺自治会長、班長、農業法人、会社社長さんなど24名でスマートインターチェンジ建設に向けた活動を展開する決議をして、我々合同会派5名で資料づくりを進めている。今後市民団体の皆さんがえびの市当局に要望をされる時期がくると思うが市長はどのように受け止めるか。

市長 市民の皆さんからの要望は排除したことはない。要望をしつかり受けて、中身の検討をしたいと思っている。

質問 市道東原田耕地2号線については、非常に道路幅が狭い。



地域生活の充実や地域経済の活性化が期待されるスマートインター

遊休土地の利用促進を



宮崎 和宏
議員

質問

現在の都市計画は四十数

年前に策定されたものであり、現状にそぐわない計画である。今回それを見直すプランが策定された。この機会に道路、農振地区、居住地区と用途指定を見直すべきである。その中で飯野高校の南側一帯は居住地区と指定されているが、道路沿いは良いが、その南側の方は農道のため自分の土地にも家を建てられない。移住・定住を促進するためにも消防車が入れるぐらいの道路を一本通すべきだと思うが。

市長 このような場所は他にもあり、すぐには出来ないが、検討はしてみる。

質問

市内には一〇〇町歩余りの遊休土地があるが、場所によっては売却できる土地が相当あると

思われる。これからの計画はどうするのか。

財産管理課長

地区公民館など公共施設等に貸付土地も沢山あり売却できる土地については協議中である。

質問

えびの警察署が移転すると聞いている。跡地についてはどうされるものか。

市長

まだ跡地利用については協議してないところである。



新たな場所への移転が決まっているえびの警察署

移住・定住と果樹栽培



井上 義人
議員

質問 移住・定住を増強するため、えびの市出身者が都会で定年を迎えられる方に帰郷を呼びかけ、移住・定住を推進すべきである。そのためには安心して生き甲斐のある安全なまち、環境・病院等の整備が必要ではないか。

市長 親しまれるえびの市を目指し、交通網、観光地の整備、病院、商店街の活性化、健康に対する施設を整え移住・定住を進める。

質問 えびの市の特産果樹として栗の栽培拡大はできないか。

市長 えびの市は現在オリーブを推進している。栗についても苗木に対する助成金を出して、産地化を目指して推進を図りたい。

畜産農政課長 市内の栗の作付面積は23ヘクタール、収穫量は33トンで、栽培者が74名である。市

は栗の苗木を補助する計画であり、産地化に向けて取り組んでいる。

質問 道の駅に子供が集まる施設は出来ないか。子供との交流・小動物との触れ合いの広場を設置出来ないか。今設置が出来ないのなら南側の農地を購入したらどうか。

市長 当然道の駅を強化するには敷地もないので、土地の購入等を含めて、検討したい。また、幹事会の中でも議論されているので前向きに取り組みたい。



拡張建設が予定されている道の駅えびの（南側）

飯野駅水洗トイレ改修進捗状況は



西原 義文
議員

質問 飯野駅トイレ水洗化改修の進捗状況は。

市長 今年度から新設された一般財団法人民間都市開発推進機構が実施する住民参加型まちづくりとプライド21事業を活用したハード事業で、トイレの改修を行いたいと「飯野駅をといちらかさん会」から申請があった。平成28年度のハード事業申請については、JR九州と改修についての協議がまとまっておらず申請を見送った。協議がまとまり次第この事業申請が出されると思う。

質問 トイレの建物はどうなるのか。

市民協働課長 現在の建物は耐震性が無いため、JR九州では申請があれば解体すると回答を得ている。

質問 障害者専用トイレの考えは。

市民協働課長 障害者専用トイレ設置の考えはあるが、予算との関係もあるので今後検討したい。

質問 完成年度は。

市民協働課長 市民団体が申請され審査会で採択されると事業が実施される。ハード事業は一団体一年一回のみ活用で平成29年度に申請が出され、採択されると平成29年度中には完了する予定である。



水洗化が望まれるえびの飯野駅トイレ

先を見据えた具体性のある施策を



遠目塚 文美
議員

質問 外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方が周囲の方に知らせる「ヘルプマーク^①」を、えびの市でも推進し、援助を得やすくなるような取り組みは出来ないものか。

市長 東京都などの取組を参照し、えびの市でも同様の支援事業が出来ないか検討してみる。

質問 公共施設（避難所指定されている施設や学校等）に、福祉便座^②を使用した多目的トイレの設置は出来ないものか。

市長 多目的トイレの必要性は感じている。福祉便座は比較的安価で設置出来るようなので、今後検討してみる。

質問 八幡丘公園は、今後どのように活用・維持していくのか。地元住民、利用者、各種団体等と

の意見交換の場を設けるべきだ。
市長 現在、基金積立をしている。桜の老木化対策も含め、今後協議し計画策定を検討していく。

質問 県北で「延岡自伐型林業研究会」が発足した。西諸地域でも再造林対策も含め検討すべきだ。
農林整備課長 現状を調査し、関係団体等と協議検討してみる。



助け合いのしるし
ヘルプマーク

※① 東京都福祉保健局が作成したマークで、義足や人口関節使用者、内部障がい者や難病の方、または妊娠初期の方などが、支援を得やすくなるよう周知するためのもの

※② 手前側が広く開いていて、座った状態でハウチ処理しやすくなっている。（オストメイト等対応便座）



西郷工業団地より「今ある最有力候補地」を最優先に取り組み



池田 孝一
議員

質問 西郷工業団地整備の可否の重要判断項目の一つ「労働力調査」は進んでいるか。

企業誘致対策監 専門のリサーチ会社に委託し、市内も含めた通勤圏の労働力を調査している。

質問 位置決定や財政力の根拠も重要判断項目。これらを検討するプロジェクト会議の検討は進んでいるか。

企業誘致対策監 基本計画の進捗に併せて検討することとしているので、会議は開始しているが財政力の検討は進んでいない。

質問 現在の本市の企業誘致の最有力候補地は「九州パームス跡地」であると認めた。その後の有力企業進出の進展具合と対策は。

企業誘致対策監 9月に報告した以上に目に見える進展は無い。

市長 跡地所有者及び接触している企業それぞれに対応している。

質問 西郷工業団地整備の最終判断は基本計画と前述の重要判断項目の結果（年度末）によるとなると、平成29年度当初予算への同関連予算の計上は困難と見る。

市長 判断材料を示せるのは年度末が近く、当初予算には間に合わず、見越しての計上もしない。



企業誘致が待たれる民間所有の休有地

目指せ上位を!! 移住先ランキング



山元 豪
議員

質問 本市は九州の移住先ランキングで9位である。取り組み次第で本市が1位になる可能性もある。そのためには全国へのPRが重要と思う。今後の具体的な方策は。

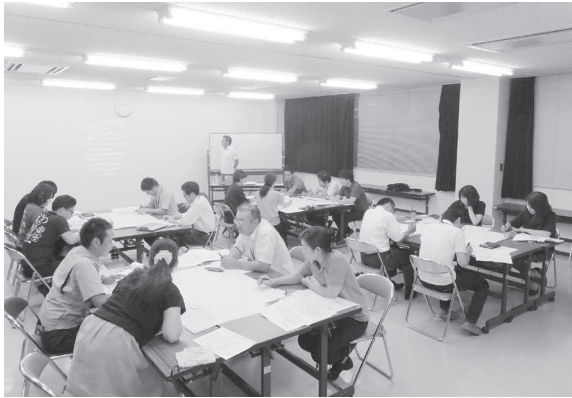
地方創生対策監 全国の自治体の中からえびの市を移住先として選んでもらう為には、豊かな自然や子育てしやすい環境など本市の魅力を積極的に発信し、認知度を高める事が重要と考える。このため都市部での移住相談会の開催や移住体験ツアーの実施など従来のPR活動に加えて、今年度、効果的な情報発信の方策としてシティセールスアドバイザーから助言を受けている。現在移住PR用動画の制作を進め、今後ホームページやウェブコンテンツ等の表示

※ウェブコンテンツ
インターネットを用いて公開する
文章や画像等の内容

により本市の情報発信力を強化する。

質問 65才以上の高齢者に「シニアカード」を配布して高齢者優待制度を実施する考えはないか。

福祉事務所長 65才以上の全高齢者に対する優待制度はないが、本市における高齢者クラブの活動への支援や社会福祉協議会が行なっている地域支え合い事業などを積極的に推進していく事で高齢者の福祉の増進を行っている。



シティセールスアドバイザーによるアドバンス研修

「道の駅を拠点としたまちづくり」 構想について



小東 和文
議員

質問 「道の駅えびの」の拡張整備計画の中で、幹事会を開いたとのことだが協議内容を尋ねる。

畜産農政課長 直売所、レストラン、トイレ、駐車場の増設それに伴う土地の拡張が必要になって来る。候補として道の駅敷地南側の農地が望ましいとの意見が出た。

質問 南側に拡張する協議結果と言われたが、市長としてのビジョンは何処にあるのか。トップリーダーとして市長が方向性を示し、将来像、地域活性化を考えた時、西側に拡張すべきと考える。進入道路を広くし魅力ある環境をつくり、えびの市の拠点を作るべきだ。

市長 この道の駅という施設をどう改善していくのか、現場に近いところの幹事会の意見を聞き、それを吸い上げたうえで五者会議

で決めて行く。西側の開発というのは、また別な場で協議していく。
質問 バイオガス発電所を建設した場合、畜フンを活用することで畜産農家の後継者育成に繋がるのではないか。

畜産農政課長 畜産農家が規模拡大を図るうえで処理費の問題もあるが労働力の削減投資抑制により後継者の育成に繋がると考える。



道の駅えびのの拡張を提案している西側農地

急げ!!小中学校冷暖房設備



蔵園 晴美
議員

質問 上江小中一貫校は冷暖房が整備される。(平成29年4月開校)教育現場の公平性を考えたとき、市内の全小中学校への早期整備が必要ではないかと指摘しているのか。整備計画はどのようになっているのか。

教育長 早急に整備したいが、永山運動公園など大型事業が計画されている。来々29年度に実施計画を策定して、平成30年度に中学校、平成31年度に小学校それぞれ冷暖房を整備する方向で計画している。

質問 JR九州の株式上場で株主より赤字路線の圧力が心配される。日南市はすでに購入。串間市は今期定例会に株式購入費1千万円の補正予算を計上予定である。小林市でも株式取得の検討に入っ

ている。吉都線利用促進協議会など全体で株式取得に向けた協議をすべきではないか。

市長 吉都線存続は全体の中で協議はしている。株式購入は新年度で1千万円予算計上をしたい。存続についても西諸2市1町で取り組みを推進していく。



平成29年4月開校予定の上江小・中一貫校

聴覚障害者への支援の充実を!!



田口 正英
議員

質問 障害者への災害・防災の情報提供の体制は。特に聴覚障害者への伝達は的確に伝えなければならぬと思うが対応はしているか。

基地・防災対策課長 行政機関誌または県の障害者対策支援システムによりえびの市の災害情報を県に送信し県内の市町村の状況をNHK、県内の民放の放送局のテレビ放映を通じ字幕として表示するシステムで伝えている。

質問 災害、防災の訓練に手話協会等やまた手話通訳者の方の参加も含めた防災訓練が必要と考えるが取り組む考えはないか。

基地・防災対策課長 今後の訓練については聴覚障害者を含む全ての障害者の方を対象に訓練するよう支援していきたい。

質問 現在えびの市の本庁、出張所に手話通訳者の配置はされているか。

総務課長 手話通訳者という形での職員はいない。ただし手話通訳ができる職員は7名いる。

質問 聴覚障害者の社会参加についてどのように取り組む考えか。

副市長 聴覚障害の方が社会参加されるには意思疎通が必要である。今後、実態を把握するため調査をする。



買い物支援と市道整備



北園 一正
議員

質問 地方創生事業の議会一般質問で「買物弱者（日常の買物に不自由しているひと）」を支援する買物代行や移動販売車の運行の必要性を訴えている。市長は移動販売車の件については、情報収集を行い考えていきたいと答弁されているが、市は今後どのように取り組むのか伺う。

市長 買物支援の必要性は「生活支援アンケート・自治会の支え合い事業の調査」で、買物に不便を感じておられる方が多いことは十分承知している。課題の多い事業であるが、実施に向けて関係者と協議を進める。

質問 文化センターの進入道路である、市道平城線と山内地区の鳥井元線の接続は「文化センターの行事や、建設が決定している防

災・食育センターの業務（学校給食センターと供用）」の交通安全対策や利便性の為、道路整備が必要である。地元からも要望があるが整備計画について伺う。

基地・防災対策課長 地元から用水路の整備と併せて要望書が出ている。平成30年度の防災・食育センターの付帯工事として実施する。



道路改修が望まれる文化センター北側の侵入道路

えびの市の農地と農業を守れ



西原 政文
議員

質問 国は平和憲法を踏みにじりこれまでと違い自衛隊に新たな任務を与え南スーダンに派遣した。今後、一発の銃弾で相手も自らの命の危険な状況となった。

市長 安全保障は、国の事だから一市長としてコメント出来ない。
質問 農業委員の選出方法が変わった。大企業や株式会社など、えびの市に在住しない戦前の不在地主のような農業委員が選出されてはならないと思うが。

畜産農政課長 法律では応募できるが、要綱の中でえびの市に住所を有するか、農業経営を行ってあるものとし、議会の議決も必要で二重三重のチェックができる。

質問 えびの市でも貧困が深刻である。親の経済状況で子どもの人生が左右されることがあつては

ならないと思う。対策を求める。

市長 医療費だけでなくアンケート結果を見て対策を考える。

質問 全国で乳幼児の育児放棄や放置など痛ましいニュースが報じられる。えびの市において子どもの定期検診など実施し、実体把握をしているか。

福祉事務所長 乳児を持つ家庭の全戸訪問や定期検診、保健師などで把握に努めている。



耕作放棄地などの調査等を行う農業委員会

災害時の燃料確保について



上原 康雄
議員

質問 大規模な災害が発生した場合、電気、ガス等のエネルギーの供給が途絶することが想定される。こうした状況下では、病院、

災害対策本部等の重要施設においては、非常用発電機等を使うことが必要となり、その燃料を確保することが急務となる。また消防車

両等の緊急車両の活動が活発化することも想定され、これらの車両の燃料の確保も不可欠である。災害時の緊急の燃料確保に対応できる自家発電機や、大容量の地下タンクを備えた災害対応能力の高い給油所が市内にいくつあるか。

基地・防災対策課長 自家発電機や大容量の地下タンクを備えた給油所は2給油所である。

質問 災害時に対応できる給油所の数があまりにも少ない。市民

生活にも大きな問題となる。早急に対策を検討すべきと思うが市長の見解は。

市長 市民の安心安全を守ることが最重要と考える。災害時の燃料確保について現在の状況を十分精査し、災害が発生してもすぐに対応できる体制を確立し、早急に検討をし前向きに取り組む。



災害訓練の様子



えびの市議会議場

議会傍聴 しませんか

手続きは簡単です。

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告をうけます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。

議会改革等調査特別委員会設置の報告

12月定例会最終日の12月14日、全会一致により議会改革等調査特別委員会が設置されました。

議長を除く14名で二つの分科会により次の事項について調査し議論することになりました。

◆第一分科会

- ①議員定数に関する事
- ②議員報酬に関する事

会長 宮崎和宏議員
副会長 栗下政雄議員
委員 小東和文議員・田口正英議員
上原康雄議員・西原義文議員
西原政文議員

◆第二分科会

- ①政務活動費に関する事
- ②議会報告会に関する事

会長 池田孝一議員
副会長 山元 豪議員
委員 遠目塚文美議員・井上義人議員
北園一正議員・本石長永議員
蔵園晴美議員

特別委員会全体の委員長として蔵園晴美議員、副委員長は各分科会会長が就任しました。

それぞれの分科会及び、各議員が調査研究し、来年6月定例会で結果を報告することになりました。

議会改革等調査特別委員会

委員長 蔵園晴美

アンケート調査のお願い

議会だよりアンケート調査

問1. 議会だよりの全体的評価をお聞かせ下さい。

- 1 大変良い 2 良い 3 普通
4 もう少し努力が必要 5 まだまだ努力が必要

問2. より良い議会だよりにするために、次の2点について工夫すべきことは何かお聞かせ下さい。

- 1 文字の大きさやレイアウト関係については？
2 記事の内容、報告してほしい事柄などは？

問3. 上記のほか、議会だよりに関して何でも結構です。ご意見やご感想をお聞かせ下さい。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、是非アンケートにご協力ください。よろしくお願ひ申し上げます。

「えびの市議会だより」は、市民の皆さまに議会の説明責任を果す一端を担っており、私達議員自らが筆を執り発行しています。

また、発行に携わる委員会も「議会広報常任委員会」として、一層の使命感を注ぎ、紙面づくりに工夫を重ねております。

ついでに、「議会だより」が一層市民の皆さまにとつて分かりやすいものとなるよう、今後の紙面づくりに役立つためのアンケートを実施します。

ご協力ありがとうございます。記入後は切り取ってそのままポストに投函して下さい。
※切手不要



【平成28年9月】

- 5日 議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会
- 25日 市内小学校運動会
- 26日 9月定例会閉会
全員協議会
- 議会広報常任委員会



【平成28年10月】

- 4日 行政視察（兵庫県洲本市議会） 来庁
- 13日 議会広報常任委員会
えびの市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会
全員協議会
- 18日 平成28年交通安全・地域安全・暴力追放西諸大会
- 21日 議会広報常任委員会
- 28日 平成28年度えびの市戦没者追悼式

【平成28年11月】

- 3日 平成28年度えびの市市民表彰式典及び地域活性化活動実績報告会
- 4日 平成28年度西諸縣市郡議会議長会議員研修会
- 8日 産業厚生常任委員会
- 9日 行政視察（産業厚生常任委員会）（11日）
- 14日 議会運営委員会
- 15日 行政視察（議会広報常任委員会）（16日）
- 17日 宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議平成28年度役員会・総会・研修会
- 21日 平成28年度宮崎県市長会研修会
- 25日 平成28年度金婚者祝賀会
- 議会運営委員会
- 30日 12月定例会開会

編集後記

市民の皆様新年明けましておめでとうございます。

新春の1月号をお届けしました。12月定例会で議会改革（議員定数・議員報酬・政務活動費・議会報告会）に関する調査審議を担う、議会改革等調査特別

委員会のご活躍をお祈りします。

委員会の設置が議決されました。今後、市民の皆様のご意見等をお聞きしながら、慎重かつ十分に協議・検討していきたいと思えます。

今年が市民の皆様にとって明るく良い年になりますように、市民の皆様のご健康と益々のご活躍をお祈りします。

議会広報常任委員会 上原 康雄

郵便はがき

889 4290



料金受取人払郵



差出有効期間
平成29年
3月31日まで

◎議会だよりに関するアンケート調査

（受取人）
宮崎県えびの市大字栗下1292番地
えびの市役所 議会事務局 行

バーコード



※該当する年齢を○で囲んでください。

20才未満

20代～30代

40代～50代

60代～70代

80代以上